

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	巻わくわくクラブ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		2025年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	異年齢の児童が多く、関わりや交流があることで社会性や協調性、思いやることなどを学べる	・小さい子が苦手な児童に対しては、必要に応じて職員が問に入る	・活動や余暇の中で関わりが増えるよう促す ・小さい子の遊びや面倒を見てくれた際は、自尊心が高まるよう感謝を伝える
2	活動プログラムが固定化していないことで、様々な活動に参加できる	・曜日ごとに活動がかぶらないようローテーションしている ・職員も活動がかぶらないよう配慮して担当を決めている ・ただ楽しむだけでなく、想像力や力加減、チームワークなどソーシャルスキルを養うような活動を考えている	・活動に参加できなかった児童に対し、さらに個別で対応ができるが良い ・個別療育にも力を入れ、より1人1人に合った支援をしていく
3	職員のチームワークや人間関係が良い	・子どもの人数に対して職員が多い時は声を掛け合って個人の仕事ができる時間を確保するようにしている ・話し合いの機会を多く設けたり、支援中なども声を掛け合えている	・職員の数が充実している時は、子ども1人1人の個別支援に力を入れていく ・業務の偏りを少しでも減らす

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童クラブや地域の人・子どもと関わり交流する機会が少ない	・地域の人と交流できるような行事や時間を確保することが難しい	・長期休みや土曜日をつかって近隣の店へおでかけするなど、地域社会への参加につながる支援に努める
2	家族等の参加できる研修の機会や情報提供などの機会が少ない	・保護者参観などはしてきたが、研修にまで至らなかった	・職員が研修などに参加して知識や技術を学び機会を提供できるよう努める ・行政などから事業所にとどく研修の案内から保護者の方でも参加できるものがあればご案内する